



指揮
中村 暢宏
Nobuhiro Nakamura

ソプラノ
金原 聡子
Satoko Kinbara

メゾソプラノ
相可 佐代子
Sayoko Oka

Orchester Röschen rot

オーケストラ レースヘンロート

× 名響グループ

G. マーラー 交響曲第2番

Gustav Mahler | Symphony No. 2 in C Minor, "Auferstehung"

「復活」

2025 **11.2 日** 愛知県芸術劇場 コンサートホール

14:00 開演 (13:15 開場)

東山線または名城線「栄」駅下車、徒歩3分
(オアシス21から地下連絡通路または2F連絡橋経由)

チケット販売

前売り 900 円 当日券 1000 円 **全席自由席**

■ ネット販売

チケットぴあ

Pコード 305938



■ 委託販売

愛知芸術文化センター
プレイガイド

☎ 052-972-0430

お問い合わせ

代表 山内 | orchester.roschenrot@gmail.com

最新情報は公式 SNS をチェック!!



- 未就学（小学校入学前）のお子様の同伴、入場はご遠慮いただいております。小学生の方は身分証明書による年齢確認をさせていただく場合がございます。
- 混雑状況により開場時間を早める場合がございます。 ● 入場時には必ずチケットを手元にご準備ください。
- 車椅子座席をご希望の方は事前にご連絡ください。 ● 公演中止以外でのチケットの払い戻しは行いません。ご了承ください。

Orchester Röschen rot

〔管弦楽〕 オーケストラ レースヘンロート



Orchester Röschen rot は 2024 年、マーラーの《交響曲第2番》を演奏したいという強い思いのもと、東海地方の大学オーケストラの OGOB を中心に結成された今回限りの特別オーケストラ。団体名「Röschen rot(レースヘンロート)」は、第4楽章冒頭に登場する歌詞からの引用で、「小さな赤いバラ」を意味します。多くの方々のご協力のもと、合唱を含めた大規模な演奏会にチャレンジできることを、大変うれしく思います。この一度限りの舞台に、メンバーそれぞれの情熱を注ぎ込み、熱い演奏会になるよう邁進してまいります。どうぞお楽しみに！

Orchester Röschen rot 代表：山内揺輝



〔合唱〕 名響グループ



名響グループは1990年に故伊藤真司氏により設立された名響コーラスを主体とした混声合唱団。現在は一宮、金山、刈谷、豊田、守山の各会場で練習している。これまでにベートーヴェン「交響曲第9番」をはじめ、モーツァルト・フォーレ・ヴェルディの3大レクイエムや、ブラームス、デュリュフレ、ベルリオーズ「レクイエム」、その他ヘンデル「メサイア」、ハイドン「天地創造」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」、ヤナーチェク「グラゴルミサ」、ドヴォルザーク、ブルックナー「テ・デウム」など数々の名曲を演奏してきた。その累計公演回数は70回以上。圧巻のオーケストラと奏でるマーラーの交響曲、その感動の瞬間を是非お楽しみください！

名響グループ代表：重左竜二

〔指揮〕 中村暢宏



1973年東京都生まれ。96年愛知県立芸術大学(ヴィオラ専攻)卒業。ヴィオラ奏者として、94年日本室内楽アカデミーにおいて奨励賞、96年第3回川崎音楽賞コンクールにおいて第3位、および多くの副賞を受賞。96年にドイツ・シュツットガルトへ留学し研鑽を積む傍らドイツ国内各地で演奏活動を行う。帰国後は東京フィル等の在京オーケストラの他、名古屋フィル、群馬響、セントラル愛知響、浜松フィルなど各地のオーケストラに客員奏者、または客演首席奏者として活動。08年、中日新聞上の「オーケストラ退団、そして指揮者へ」の記事と共に活動の中心を指揮へ転換。

これまでに、セントラル愛知交響楽団、愛知室内オーケストラ、松本室内合奏団、など数多くの団体の公演を指揮。

また四日市市制111周年協賛事業や、豊田市コンサートホール10周年事業「チェロの森」、第11回岐阜県アマチュアオーケストラフェスティバル(ホルスト:惑星)、第31,38,42回東海学生オーケストラ連盟の公演を指揮。07年にはロシア・サンクトペテルブルグ国際指揮者マスタークラスに参加。同時にサンクトペテルブルグ国立交響楽団の公演において指揮者として選抜され、ペロゼルスキー宮殿にて同団を指揮。東ヨーロッパ評論家から紙面などで絶賛された。12年にはブルガリア国立プロヴディフ・フィルハーモニー交響楽団の定期公演に客演し、プロヴディフにおいて数十年ぶりの再演となる、ショスタコーヴィチ:交響曲第5番を指揮し、紙面・ラジオなどで話題となった。また13年にはウィーン楽友協会においてベートーヴェン:ミサ・ソレムニスを指揮。18年には再び楽友協会へ登壇し、伊福部昭シンフォニアタブカーラ、マーラー1番などを指揮した。これまでに一宮市消防音楽隊常任指揮者などを歴任し、現在、ブランタン管弦楽団常任指揮者、名古屋アマデウス室内管弦楽団音楽監督、名古屋市民吹奏楽団常任指揮者、相山フィルハーモニーオーケストラ指揮者、相山女学院大学シンフォニーオーケストラ、愛知工業大学管弦楽団指揮者など数多くを務める。名古屋フランス音楽研究会員。

〔ソプラノ〕 金原聡子



愛知県立旭丘高校卒業、東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院修士課程修了。明治安田クオリティーオブライフ文化財団の助成、その後、文化庁新進芸術家海外研修生としてボストンに留学。ロンジー音楽院オペラ科を修了。日伊コンコルソ第二位。藤沢オペラコンクール奨励賞。ニューヨーク・キャリアブリッジアワードコンペティションファイナリスト。

米国ニューハンプシャー州オペラノースカンパニー「ファルスタッフ」のナンネッタ役、「魔笛」夜の女王役、「劇場支配人」マダムヘルツ役他でオペラに出演。「第九」「メサイア」「カルミナ・ブラーナ」「天地創造」他の宗教曲のソリストも数多く務める。

名古屋名駅ロータリークラブ第20回椿賞受賞。名古屋ベンクラブ賞受賞。名古屋市民芸術祭賞受賞。愛知教育大学准教授。愛知ロシア音楽研究会会員。東京二期会会員。

〔メゾソプラノ〕 相可佐代子



名古屋音楽大学声楽科卒業、同大学院修了。2001年パリ市立シャトレ劇場研修生として渡仏。同劇場において歌曲リサイタル他、パリ・アテネ劇場や音楽祭にも出演。劇場研修後、エコールノルマル音楽院よりルーセル奨学金、ベスティギ奨学金を得て研鑽。帰国後も『カルメン』(タイトルロール)など多数のオペラに出演。ベートーヴェン『交響曲第九番』『ミサソレムニス』マーラー『交響曲第3番』『大地の歌』等のソリストも数多く務める。

名古屋音楽大学准教授、京都市立芸術大学、愛知県立芸術大学各講師として後進の指導にもあたる。NHK-FM『名曲リサイタル』出演。津市文化奨励賞。ソロリサイタルにおいて、名古屋音楽ベンクラブ賞、名古屋市民芸術祭賞受賞。

初のアルバム「Parler⇌Ravel」を今秋リリース。CBCクラブ会員。

愛知県芸術劇場

〒461-8525 名古屋市東区東桜一丁目13番2号
(愛知芸術文化センター内)

● 地下鉄

東山線または名城線「栄」駅下車、徒歩3分
(オアシス21から地下連絡通路または2F連絡橋経由)

● 名古屋鉄道

瀬戸線「栄町」駅下車、徒歩2分
(オアシス21から地下連絡通路または2F連絡橋経由)

● お車で越しの方

名古屋高速都心環状線「東新町」出口から3分

